

# ○遊休農地の発生防止・解消と丁寧な相談活動に力を注ぐ (熊本県宇城市農業委員会 百家(ももか)美代子推進委員)

## 1. 農業委員会の概要

● 農業委員: 13名(うち女性1名)

● 農地利用最適化推進委員: 20名(うち女性1名)

## 2. 取り組みのきっかけ

● 高齢化の進展などを背景に、平坦部でも遊休農地が散見されつつある。さらに、女性であることも相まって、同性を中心に経営や暮らしを巡る多様な相談が寄せられる。

● このため、遊休農地の発生防止・解消と農業者に寄り添った相談対応を委員活動の柱とした。

● また、料理屋を営む実家で育った影響から「食」への思いが強く、その大切さを伝えるため、食育活動などにも積極的に取り組んでいる。

## 3. 具体的な取り組みの内容

○ 日頃から農地の利用状況を監視し、遊休農地の早期発見に努め、委員として蓄えた情報(農委1期も含め5年)などから、農地の位置等を踏まえ、最適な引き受け手を選定し、あっせんするなどの方法により未然防止や解消に努めている。

○ これまでに培った知識や経験、くまもと農業女性アドバイザー(県認定)として得た情報など元に、経営から農地問題、さらには家庭内の相談事にも丁寧に対応し、農業者の信頼を集めている。

○ くまもと食の名人(県認定)や野菜ソムリエとしての知識や経験を活かし地元小学生を対象に料理教室(現在はコロナ禍により、アレンジフラワー教室、郷土料理の講話など)の講師を務めるなど、次代を担う子どもたちのための活動にも取り組んでいる。



遊休農地の再生作業(ヒマワリ畑)に  
取り組む宇城市農業委員会の委員  
(前列左が百家委員)



地元の小学生にフラワーアレンジメントを教える百家委員

